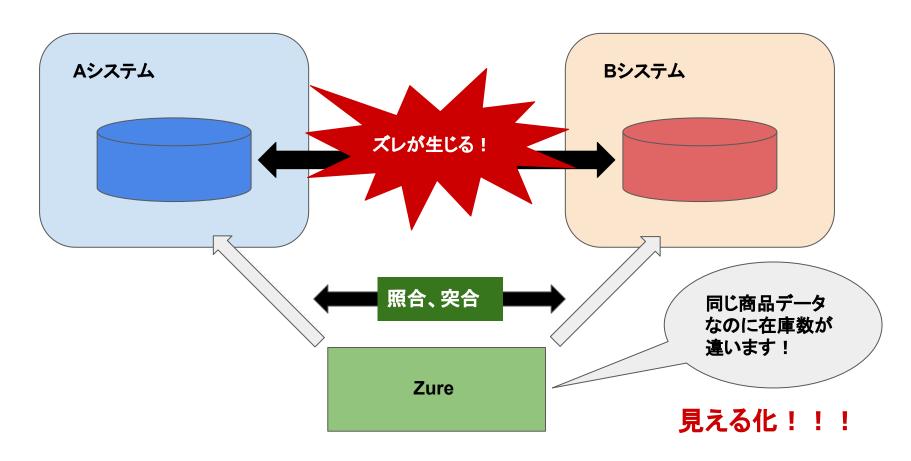
システム間のデータのズレを見 える化する『Zure』

目次

- 1. 製品概要
- 2. 特長
- 3. 使用実例
- 4. 導入、カスタマイズ、費用について
- 5. お問い合わせ先

1. 製品概要



1. 製品概要

Zure(読み:ジュール)は、システム間のデータのズレをチェックするツールです。システムというのは、多くはフロント側、基幹側、外部システム側など様々な領域と連携し成立しています。その際にどうしても生じるデータのズレ、これを見える化するのが本製品です。

2. 特長

- リレーショナルデータベース以外にも、NoSQLやCSVなどのファイルのズレも見える化可能
- 結果はHTMLで出力されるので誰でもチェック出来る
- 必要な知識はSQLの基礎知識だけ!
- Javaで開発されてていため、ありとあらゆる環境で導入、稼働可能

3. 使用実例

- 某ECパッケージ会社様のデータ移行プロジェクトにおいて、旧データベース(Oracle)と新データベース(PostgreSQL)とのデータ差異を見える化した
- 某ネット証券会社様の定常業務内で発生していた、注文ファイル(CSV)と注文確定後のデータ (Oracle)の差異を見える化した
- 某アパレル会社様の定常業務内で発生していた外部 POSシステムの商品データ(Oracle)と分析 基盤のデータベース(Redshift)の差異をリアルタイムで見える化した
- 某物流会社様のECシステムの商品データ(MySQL)とキャッシュ用途のデータベース (MongoDB)の差異を見える化した

4. 導入、カスタマイズ、費用について

ツール自体はオープンソースでも、ちろん無料ですが、導入、カスタマイズ、保守で私が関わる場合は費用が発生します。

詳しくは下記メールアドレスまでお問い合わせください。

5. お問い合わせ先

E-MAIL

ikeda8819@gmail.com